



つばめ 3号

岩手県立宮古病院
摂食・嚥下障害看護
認定看護師
竹内 英晃
令和6年9月6日



食事を始める前に患者さんの観察を行いましょう

脳卒中など疾患により摂食嚥下障害が生じることがあります。また、入院治療により絶飲食となる患者さんは、低栄養から体力・免疫力の低下を、廃用から摂食嚥下障害を生じることがあります。食事を始める前には、医師の指示を確認した上で、食事ができる状態かを観察しましょう。

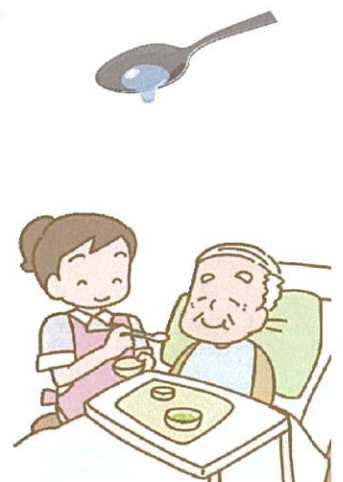


食事を始める前に飲みこむ力を確認しましょう



医師の指示で、入院時に食事を始める時、絶飲食後に食事を再開する時には、飲みこむ力を観察しましょう。少量の水、とろみ水などを飲みこむことができるか、ムセがないか、呼吸の変化がないか観察し、その患者さんに適した食事をオーダーしましょう。

食事開始時も、むせにくいものを少量から始め、飲みこみ、ムセの有無を観察するようにしましょう。



MR 専門部会通信

行政端末メール：chuo-mri@pref.iwate.jp

ステラネットメール：医療局 MR 専門部会

2024 年 9 月 5 日

この号の内容

1. MR 検査前の飲食制限はなぜ必要なの？
2. 小児検査プリパレーション動画のご紹介

病院では皆様をご存じの通り、様々な検査があります。検査の目的は、「身体の異常の原因を調べる：病気の診断」、「治療方針を選択する」、「治療後の状態を確認する：治療効果判定」など様々ですが、正しい検査結果を得るためには守るべき注意事項があります。有効な検査にするためには医療スタッフだけではなく、患者さん本人またはご家族の協力も必要です。そこで今回は、MR 検査への理解・協役に役立つ情報をお伝えします！

1. MR 検査前の飲食制限はなぜ必要なの？

MR 検査では、多くの場合で検査前の飲食制限を行っています。その理由は大きくわけて 3 つです！！



腹部検査での障害陰影の防止・胆のうの収縮防止



胃・腸におけるぜんどう蠕動運動の抑制



造影剤副作用発生時の嘔吐回避と軽減

1. 腹部検査での障害陰影の防止・胆のうの収縮防止

検査前に食事をした場合、腹部 MR 検査では胃内の食物残渣が周囲臓器を隠したり、圧排したりと身体の中の観察が難しくなり、検査・画像に影響します。また、胆のうは食事をするすると蓄えられていた胆汁を出すために小さくなります。水分摂取も、膵臓や胆管などの臓器の観察を難しくしたり、成分によっては食事と同様に胆のうを収縮させてしまう場合があります。

では、胆のうが収縮するとどのような影響が考えられるのでしょうか。

図 1 は胆汁が蓄えられている胆のう、図 2 は食事を摂取した後の収縮した状態の胆のうをそれぞれ風船にて模擬した画像です。風船に書かれた「MR 専門部会」という文字が読めるでしょうか。図 1 の風船の文字は大きく引き伸ばされ、「門」や「部」の文字の間違いが分かり易いですが、図 2 の文字は小さく密集していて間違いが分かり難いです。これを人体で例えると、小さな病気が分かり難く、病気の見逃がしに繋がる事を意味しています。

図 1：膨らんでいる風船
胆汁が蓄えられている
胆のうを模擬

図 2：縮んだ風船
食事摂取後の収縮した
胆のうを模擬

検査前にスタッフまで
お申し出ください。



検査前にスタッフまで
お申し出ください。



2. 胃・腸におけるぜんどう蠕動運動の抑制

食事を摂取すると消化により胃・腸のぜんどう運動が活発になります。そのため、臓器の動きが画像のブレ・不鮮明さにつながり画質が大幅に低下します。

3. 造影剤副作用発生時の嘔吐回避と軽減

造影剤投与中や投与直後に副作用（Gd 造影剤：副作用発現率 0.5～1.0%）が生じる場合があります。副作用には様々ありますがアレルギー反応や化学毒性反応による嘔気、嘔吐の消化器症状の頻度が高いと言われています。検査はほとんどの場合は仰向けに寝て行いますので、造影剤の副作用により嘔吐を来した際の誤嚥^{ごえん}を防止するために検査前の食事制限をしている施設が多いと思います。

以上の理由により、正確な画像診断を行うために MR 検査では食事制限や水分制限を行っています。検査当日に食事を取ってきてしまった場合などは、依頼医・主治医に **報告**、そして MR 室にも **相談** してください。スタッフ間で連携・協力して検査開始時間を遅らせるなどの調整を行い、患者さんへの負担が少ない有効な検査にしていきましょう！

気温が高い時期などは、過度な水分制限は脱水症状を引き起こします。脱水症状は造影剤による副作用が発生しやすくなります。施設のルールを守り適切で有効な食事・水分制限を行いきましょう！



2. 小児検査プリパレーション動画のご紹介

MR 検査は、日常生活と全く異なり大人にとっても色々な不安やストレスが伴います。小児にとっては不安とストレスでしかありません。無理やりな検査はトラウマとなる場合もあるそうです。小児の MR 検査での、いくつかの注意点とプリパレーション動画をご紹介します。



1. 検査の内容をわかりやすく説明する：

MR 検査の流れと検査のイメージを持たせ、安心感を得ることが大切です。

2. 検査前に適切な準備をする：

事前の検査環境準備、承諾書などの不備を無くし、スムーズな検査の実施に努めることも大切です。

3. 検査中の安心を確保する：

小児は長い時間じっとしていることが難しいです。リラックスさせるための工夫が重要です。

4. コミュニケーションを大切にする：

小児と保護者とのコミュニケーションを大切にして、安心感を与えることが重要です。

最後に、検査の流れをわかりやすく説明しているプリパレーション動画をご紹介します。動画は小児の目線で作成されており、実際の検査の雰囲気が伝わり、理解できるように工夫されています。下記の①と②の QR コードの動画は 360 度 VR 映像となっており、よりリアルな映像が体験できます。各サイト内では、検査説明用のリーフレットも無料で配布しておりますのでご活用ください。（「MR | ピカチュウ」でも検索できます）



①小児 MR 検査 ポケモン



②小児 MR 検査 説明用動画



③シロクマン MRI アドベンチャー

①、②：キャノンメディカルシステムズ株式会社 ③：バイエル薬品株式会社 サイトより（動画では大きな音が出ますのでご注意ください。）

MR 専門部会通信では、様々な情報をご紹介します。普段疑問に思っている事や取り上げてほしいテーマなどありましたら、お気軽にご連絡ください。

行政端末メール : chuo-mri@pref.iwate.jp

ステラネットメール：医療局 MR 専門部会